

「東北圏広域地方計画」推進に関する情報紙

『東北圏だより』

創刊号（平成21年12月）

発行：国土交通省 東北地方整備局

東北圏広域地方計画推進室

HP:<http://www.thr.mlit.go.jp/kokudo/>

あいさつ「創刊にあたって」

東北圏広域地方計画推進室 室長 関 博之

皆様こんにちは。東北圏広域地方計画推進室長の関でございます。東北圏広域地方計画の策定とその推進につきまして、皆様方から全面的なご協力をいただいておりますことに対し心から感謝申し上げます。

同計画が今年の8月4日に決定されてから、早いものでもう4ヶ月になります。この間、東北圏広域地方計画協議会の皆様のご協力をいただきながら、計画の積極的な推進を図るための各種プロジェクトチームの立ち上げや計画を広く周知するためのパンフレットの作成、シンポジウムの開催などを行ってまいりました。11月13日に「広域地方計画の実現に向けて」と題して仙台市で開催したシンポジウムは、約350名の方々にご参加いただき、計画の推進に向けての最初の大きな取り組みとしては大成功だったと感じているところです。

協議会の皆様をはじめとして、東北圏域内の多くの方々に計画策定にご参加いただいたこの地方計画を着実に実行していくために、今後とも皆様方のご協力をいただきながら、様々な取り組みを行ってまいりますので、よろしくをお願いいたします。

この度、その取り組みの一環として、協議会の皆様などを対象に計画の推進状況等の情報発信を行い、広く東北圏広域地方計画の周知を図るとともに、協議会の構成機関などで情報共有を図って、計画の推進に資するために『東北圏だより』を発刊することになりました。毎月発刊させていただく予定ですので、計画の推進や広報を行っていく上で参考にしていただければと思います。

東北圏広域地方計画の中で示された東北圏の新しい将来像である「豊かな自然の中で交流・産業拠点として発展するふるさと『東北にっぽん』」の実現に向けて、今後とも皆様とともに同計画を着実に実施してまいりますので、引き続きご協力、ご支援いただきますようお願い申し上げます。



シンポジウムの開催報告

11月13日、仙台エクセルホテル東急において、今年8月に決定した東北圏広域地方計画の実現に向け、「東北圏広域地方計画シンポジウム～広域地方計画の実現に向けて～」を開催しました。当日は、一般市民や民間企業、経済団体、自治体関係者等、約350名が参加。はじめに、NECセミコンダクターズ山形の森岡社長に『企業が東北に期待するもの』と題して基調講演をいただき、その後のパネルディスカッションでは、観光や防災、農業、医療、産業、地域づくり等の各分野で活躍されているパネリストの方々から、計画を実行する上での意見や提案をいただきました。

●基調講演『企業が東北に期待するもの』

森岡 國男 氏（NECセミコンダクターズ山形(株) 代表取締役社長）

●パネルディスカッション『広域地方計画に圏民は何を期待するのか』

コーディネーター 柴田 洋雄 氏（東北圏広域地方計画懇談会 副座長）

パネリスト（五十音順）

佐藤 大介 氏（(株)三沢奥入瀬観光古牧温泉青森屋 取締役総支配人）

鈴木 幸夫 氏（(株)秋田ニューバイオファーム 代表取締役）

平 克美 氏（宮古地区広域行政組合 消防本部 消防長）

立石 吉識 氏（(株)福島製作所 代表取締役社長）

根本 建二 氏（山形大学医学部 がん臨床センター長 放射線腫瘍学講座教授）

長谷川美香 氏（(有)ミカユニバーサルデザインオフィス 取締役社長）



▲基調講演



▲パネルディスカッション

取組推進PT（プロジェクトチーム）の動き

東北圏広域地方計画の中で、今後10年間で重点的に推進する取組として13の広域連携プロジェクト（以下：広域連携PJ）を設定していますが、各プロジェクトを実現するための取組として協議会構成機関の合意により取組推進プロジェクトチーム（以下：推進PT）を設立し、計画期間内に取り組む目標や推進計画等を定め実行していくこととしております。

この推進PTについては、計画の初年度である今年度は8つの広域連携PJに関連する推進PTを立ち上げる予定で、これまでに5つの推進PTが設立し、調査・検討が進められております。また、残りの広域連携PJに関連する推進PTについても、次年度以降順次立ち上げを行っていく予定です。

12月16日（水）には、各推進PTの主査機関による「取組推進PT全体会議（以下：全体会議）」を開催し、計画の実効を図るための情報交換等を行うこととしております。この全体会議は、次年度以降毎年2回ペースで開催する予定です。



広域地方計画に関するお知らせ

東北高速バス共通フリーパス実証実験を平成21年12月1日より開始しました！

東北運輸局は、推進PTの一環として東北バス協議会等と共同で、東北高速バス共通フリーパス実証実験を行っています。

この実証実験は、高速バスの利便性の向上を図ることを目的としており、パス利用者へのアンケート等を通じて需要把握や本格実施に向けた課題分析等を行います。



- 発売時期：平成21年11月1日～平成22年2月25日
 - 実験期間：平成21年12月1日～平成22年2月28日
(ただし、平成21年12月21日～平成22年1月10日を除く)
 - パス料金：9,000円
 - 有効期限：利用開始日を含む3日間
 - 実験路線：東北6県内を発着する高速バス、一部都市間バス
 - 販売窓口：バス会社の指定取扱窓口、指定旅行代理店、指定コンビニ
- ※詳細はこちらのホームページをご覧ください <http://www.miyagi-bus-kyokai.jp/news/otokupass.pdf>

広域地方計画に係る動き（開催日順）

- 東北地域農商工連携促進フォーラム（11月9日、主催：東北地域農商工連携促進協議会ほか）
- 第3回宮城・山形未来創造フォーラム（11月11日、主催：宮城・山形未来創造会議）
- 北海道・東北未来戦略会議 第4回ほくとうトップセミナー（11月16日、主催：同会議）
- 第5回東北地域産業創造戦略会議（11月24日、主催：東北経済産業局）
- 農商工連携活性化シンポジウム（11月27日、主催：東北農政局）
- PPP/PIFフォーラム「中小都市の『コンパクトシティ』実現に向けて」（11月27日、主催：東北PPP推進連絡協議会）

編集後記

『東北圏だより』創刊号いかがだったでしょうか。毎月発行するという高いハードル設定しましたが、ネタ切れにならないか心配です。推進室からの一方的な情報提供だけでなく、皆さんと情報のキャッチボールをしながら、紙面作りをしていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。
メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp